

第1部・基調講演

日本版SOX法が企業自身を生かすためには意味がない



明治大学大学院会計専門職
研究科長・教授／金融庁企
業会計審議会監査部会長
山浦久司氏

信頼性、法令順守、資産の保
全という目的を達成するため
の制度である。しかし、それ
ぞれの目的にリスクも存在す
る。それらを管理しながら経
営を進めるためには内部統制が
必要である。そのためには、ま
ず経営の理念・方針・戦略を
明確にして、経営全体の視点
からリスクを定義しなければ
ならない。その上で業務プロ
セスごとのリスクをボトムア
ップで積み上げ、企業全体の
リスクを把握。最後に経営者
が自らの経営理念や戦略に沿
って、これらのリスクをトッ
プダウンで取捨選択し、優先
順位を付けてマッピングして
いく。その後はITを活用し

理念や戦略からリスクを決定
経営者と監査人の整合性重要

J-SOXは、内部統制の
構築を義務化する海外の制度
を単純に模倣したものではな
い。成熟した日本の企業社会
に必要な法制度として整備さ
れ、有効性・効率性、財務報告の

は、経営者自身が決定する必
要がある。そのためには、ま
ず経営の理念・方針・戦略を
明確にして、経営全体の視点
からリスクを定義しなければ
ならない。その上で業務プロ
セスごとのリスクをボトムア
ップで積み上げ、企業全体の
リスクを把握。最後に経営者
が自らの経営理念や戦略に沿
って、これらのリスクをトッ
プダウンで取捨選択し、優先
順位を付けてマッピングして
いく。その後はITを活用し

金融商品取引法をはじめとする、いわゆるJ-SOXが求める企業の内部統制の仕組みに
は、IT（情報技術）統制も含まれ、ソフトウェア資産管理（SAM）の有効活用が鍵にな
ると注目されている。先ごろ、福岡・アクロス福岡で日経産業新聞フォーラム2007「企
業経営とリスクマネジメントセミナー」SOX法対応時代に問われるソフトウェア資産管理
の重要性とSAM監査の広がり」が開催された。内部統制への企業の取り組みの現状と注
意点などの議論がなされた。

内部統制にSAMを有効活用

第2部・講演

企業リスクの法的考察
日本のソフトウェア資産管理の状況と
BSAの活動の紹介



BSA日本担当顧問
TMI総合法律事務所弁護士
石原 修氏

J-SOXは、業務の有効
性・効率性、財務報告の信頼
性、法令順守、資産の保全を
目的とする。それらを実現す
るために情報システム、ソフ
トウェア資産管理体制の整備
が必須となる。

「漫然と放置」に大きなリスク
管理指標の評価プログラム提供
と、その比率は低くなって
きた。しかし依然として、四
分の一は違法コピーされたソ
フトウェアがインストールさ
れている。リスクマネジメント
トや内部統制を考える上で
は、真剣に受け止めるべき数
字だろう。

ソフトウェア資産管理コンソーシアムの
取り組みと
ISO/IEC19770-1



ソフトウェア資産管理
コンソーシアム
田村仁氏

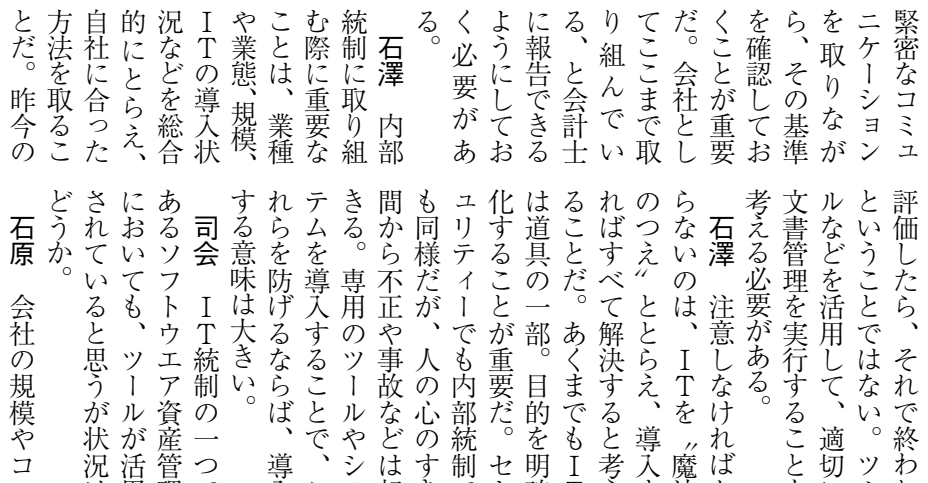
これら四つの目的は、ソフ
トウェア資産管理の四つの柱
である①説明責任（アカウン
タビリティ）②法的リスク
回避（コンプライアンス）③
セキュリティ④TCO（シ
ステム導入・維持管理の総コ
スト）削減、と共通している。
ソフトウェア資産管理を実行
することは、内部統制を進め
ることに つながる。

ソフトウェアという「見え
ない資産」をどう管理するか。
こうした社会的ニーズを背景
に、ソフトウェアという「見え
ない資産」をどう管理するか。
こうした社会的ニーズを背景

管理基準のガイドライン提示
国際基準と組み合わせ活用を

に二〇〇二年、ハードウェア、
ソフトウェア、管理ツールの
各メーカーやソリューション
プロバイダー、監査法人、コ
ンサルティング会社などが参
加して、ソフトウェア資産管

理的な管理基準のガイドライ
ンを提示している。両者を相
互補完的に活用することで、
理想的なソフトウェア資産管
理を実現することが可能にな
るはずだ。



上田 雅弘
田村 仁
石原 修
石澤 一良

田村 現状把握がなければ
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

地域で活動しているBSAで
は、組織内の違法コピーに関
する情報提供を呼びかけてい
る。国内でも内部告発による
情報提供数は年々増加してい
る。

J-SOXの求めるIT統
制では、ソフトウェア資産管
理も大きな比重を占めてお
り、資産の所有面と適正な運
用を保障する実態面での管理
が必要とされる。適正なソフ
トウェア資産管理を支援する
ため、今後もさまざまな取り
組みをコンソーシアムでは行
っていく。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

理コンソーシアムが発足し
た。ベストプラクティスの提
示として「ソフトウェア資産管
理基準」を作成。その後、管
理目標となる十一の評価項目
を定義した「ソフトウェア評
価基準」も取りまとめた。こ
れらはユーザー企業の負担を
軽減し、さらにソフトウェア
市場の健全な拡大を図ること
を目的としたものだ。サイ
ト上で公開している。ぜひ
利用してほしい。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

第3部・
パネル討論
SOX法対応時代における
企業コンプライアンスと、
ソフトウェア資産管理の重要性

上田雅弘氏

石原修氏

田村仁氏

石澤一良氏



上田氏
石澤氏
石原氏
田村氏

基準を明確にし内部統制着手 現状把握から対策が生まれる 棚卸しでソフトの意識的管理を 実現可能な目標立て資源投入

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。

田村 J-SOX対応も
ソフトウェア資産管理も、
企業がいきまうべきことだ
と認識して取り組む必要が
ある。そのためには現状の
把握がスタートとなる。ソ
フトウェア資産管理コンソ
ーシアムの管理基準や、B
SAの評価プログラムなど
を活用しながら現状を把握
する。そして実現可能な目
標を立て、自社が持つとい
く。このことが内部統制の
成功の鍵ではないだろう。